

林いさお通信



ブログ：<http://pikaichino.exblog.jp/> Tel 049-259-2228 共に!!
討議資料 No. 80 がんばろう！大熊 23年11月22日号林いさお後援会



役場職員8名と蒸かしいもの提供

三芳町は、埼玉県市町村同士の助け合い制度により、福島県大熊町と被災地支援のパートナーになっています。11月5日、福島県会津若松市で蒸かしいモの提供を行いました。

頑張ろう！大熊町 サツマイモを通して 東日本大震災支援

東日本大震災支援

三芳町は、5月から東日本大震災支援の一環として、福島県大熊町に保健士を派遣していました。大熊町は、福島第1原発の20km圏内の警戒区域に位置しています。震災後、11,000人の町民は、県内、県外に避難していますが、福島県会津若松市に役場機能が移転し、多くの町民が移転しています。『こんな時だからこそ開催し、県内外の町民が一同に会し、心を一つにして困難を乗り越えよう』と、開催が危ぶまれていた「大熊ふるさと祭り」が、会津若松市の仮設住宅地内の駐車場で開催されました。



吉野議員と共に

行委員会からサツマイモ、JAいるま野から蒸し器等の提供を受けて「大熊ふるさとまつり」で蒸かしいモの提供を行いました。子どもからお年寄りまで喜んでいただきました。福島県選出の吉野正芳衆議院議員は、数日後の国会予算委員会（NHKにて全国中継）の冒頭で、この支援活動に感謝の意を述べられました。大変恐縮しましたが、引き続き支援を行っていきたくと考えています。



440mの畝（うね）で世界一のいも掘り

10月15日、埼玉県の指定文化財になっている三富新田の上富で「世界一のいも掘り大会」を開催しました。雨天のため一日順延となりましたが、400人を超える大勢の方々にご参加いただきました。「日本の里100選」に選ばれた三富新田。美しい景観や美味しい

野菜、落ち葉堆肥を使った循環型農業等、三富の魅力をもっと知ってほしいと企画。三富新田の地割りを活かし、440mという世界一の畝でサツマイモを一齐に掘りました。今回の事業は実行委員会組織によって実施しました。参加ご協力いただいたのは、サツマイモ生産者グループの青年部、青年農業者協議会などの農業後継者、JA、協働のまちづくりネットワーク、子ども育成会などの皆さんです。当日、取材された新聞記者の皆さんも本事業に高い評価をされており、関係者もすでに来年の開催に向けて意欲を示されています。来年が楽しみです。



マレーシアのホームステイ家族と

今まで青少年海外派遣事業をオーストラリアと行っていました。マニフェストでアジアの隣国の青少年との交流を提案。担当課で検討した結果、マレーシアが派遣先の候補にあがり、現地調査を実施。私も自費にて参加。アジアのパワーと心暖かさを感じました。大変期待のもてる事業になりそうです。

★世界一のいも掘り大会

★青少年海外派遣事業